

平成25年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大 阪 市 立 住 吉 川 小 学 校

児童数

70 名

平均値

	種目別平均								
	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点
男子	17.68	18.42	27.87	37.00	42.52	9.77	150.87	24.00	50.07
大阪市	16.45	19.14	32.01	38.22	47.80	9.38	149.19	23.45	52.26
全国	16.63	19.54	32.73	41.41	51.41	9.38	152.07	23.19	53.87
女子	18.24	16.95	32.74	38.79	42.82	9.67	150.26	14.66	54.84
大阪市	16.00	17.41	36.30	35.86	36.32	9.65	140.82	14.06	52.84
全国	16.14	18.06	36.87	39.06	39.66	9.64	144.55	13.94	54.70

結果の概要

男子 ・握力、ソフトボール投げが全国平均を上回っている。

女子 ・握力、20mシャトルラン、立ち幅跳び、ソフトボール投げが全国平均を上回っている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、各学級に2～4球のドッジボールまたはソフトバレーボールを貸し出し、運動場では、バスケットボールの貸し出し、放課後には、サッカーボールの貸し出しを行っている。子どもたちが休み時間にボール運動を積極的に活動できるようにしている。他にも、なわとびが上達するようになわとび台を作成した。学校全体では、3学期に体力づくり週間を設けて、寒い冬の期間にも運動に親しむことをしている。このような取り組みからソフトボール投げの投力や立ち幅跳びの跳躍力が身についていったと考えられる。

今後取り組むべき課題は、長座体前屈の柔軟性を高めていくことである。日頃の体育学習での準備運動などでストレッチをとりいれていく。